

項目	自己評価	中・長期経営目標	短期経営目標	主な取組内容		取組内容の評価指標
確かな学力		<p>【1】 「学び合い 支え合い 共に伸びゆく鏡野中」をスローガンに、生徒が、将来を見据えながら、主体的に学ぶ学校づくりを旨としたい。そのための学習環境の整備や学力向上への手立て（授業改善・家庭学習の充実・放課後支援等々）に教職員一丸となって取り組む。</p> <p>※全国学力調査、高知県学力調査において、平均値への到達</p>	<p>1-① 校内研修の活性化が図られ、組織的な動きの中で、「学力向上」や「授業改善」が推進されている状況づくり</p> <p>1-② 「授業スタンダード」が、どの教でも定着している状況づくり</p> <p>1-③ 学校全体で、家庭学習と放課後支援の循環システムを構築し、学力の定着を図る。</p>	<p>1-① 学力向上のための組織的な校内研修体制づくり</p>	<p>1-① ・県学力向上推進校指定の取り組みとして年間3回の全校授業研を実施、授業研をもとにした全校的な授業改善の取り組みの推進 ・全員が教科会を中心に授業研の実施</p>	<p>1-① ・全校授業研年3回実施。 ・教科授業研各1回以上実施。 ・アドバイザーによる授業参観、分析、助言の回3回（授業研をしなかった教員は全員実施）</p>
			<p>1-② 子どもにわかる授業づくり（授業づくりスタンダードの活用など）</p>	<p>1-② ・授業スタンダードの定着 ・生徒同士の関わりを深める授業づくり ・授業スタンダードを視点とした校内授業研の実施</p>	<p>1-② ・全国学力学習状況調査、高知県学力定着調査において平均値 ・授業アンケートで授業がよくわかる 3.3/4.0</p>	
			<p>1-③ 学校全体で予習・復習（宿題）の質と量を高める取組</p>	<p>1-③ ・家庭学習の定着（宿題、提出物の確認と指導） ・家庭学習量時間増 ・数国英についての毎日の学習定着への取組（KAGAMINOノート、自主学習ノートの充実）</p>	<p>1-③ ・教科別ローテーションでの宿題の実施と提出 ・2時間以上の家庭学習実施生徒増 ・放課後学習教室への参加者増 ・放課後支援学習の実施（毎日） ◇学力向上関係（1～3）</p>	
豊かな心		<p>【2】 「一人ひとりを大切に、他人を大切に、自分を大切に」を合い言葉に、自分や他人の良さに気づきすべての人をかけがえのない存在として認め合える集団づくりを旨とする。</p> <p>※社会に通用するマナーや規範意識の育成</p>	<p>2-① 学習と生活のルール徹底（規範の安定で学びの充実へ）</p> <p>2-② 人のことを大切にしたい行動がとれる</p> <p>2-③ 「心をつなぐ挨拶」ができる。「感謝の心」を身につける。</p>	<p>2-① 社会に通用するマナーを身につけさせる。 ・学習と生活のルールとマナーの徹底（初期指導の徹底） ・学習規律評価 ・ポジティブフォーカスで肯定的評価の実施</p> <p>2-② 人のことを大切にしたい行動がとれる。 ・「心をつなぐ挨拶」指導の実施 ・「人権教育」「たねの活動」「トイレ掃除」等に取り組む。 ・道徳参観日の実施 ・道徳の道徳の授業研究の実施 ・道徳授業の授業評価によるPDCAサークルの循環化</p> <p>2-③ 人の心をつなぐ挨拶ができる。 ・あいさつ運動（生徒会・楠目小学校とのコラボあいさつ運動）</p>	<p>2-① ・時間を守ることを大切にする生徒100%（チャイム席を守る率100%） ・交通ルールの徹底（自転車での登下校時のヘルメット着用率100%） ・交通安全教室の実施</p> <p>2-② ・いじめの（面談、アンケート実施）発見率100%。事後指導による解消率100% ・不登校、長期欠席の生徒数減少（30日以上欠席数各学年5名以内） ・家庭訪問や個別の面談等を通して生徒本人や保護者、家庭とも良好な関係を築き、心の支援に努め、不登校生徒の減少や問題行動を減少させる。</p> <p>2-③ ・生徒会主催「人権のたねを育てる会」（掃除、あいさつの取組）への参加生徒3分の1以上。</p>	
健やかな体		<p>【3】 生徒が生き生きと活動し、生活を楽しみ、将来に向けた健康づくり（体力向上・健康への意識）を考えた生活ができるように指導をすすめる。</p> <p>※十分な運動や基本的な生活習慣の確立を通じ、健康な身体づくりの推進</p>	<p>3-① 基本的な生活習慣の定着（就寝時間、起床時間、朝食摂取等の生活習慣の定着）</p> <p>3-② 部活動参加等を通じた運動習慣の定着向上</p> <p>3-③ 新体力テスト学年推移伸び率の向上</p> <p>3-④ 健康に対する意識の向上</p>	<p>3-① 基本的な生活習慣の定着 ・保健体育の授業を中心に「早ね 早おき 朝ごはん」の指導 ・保健室便り、学校便りを活用した啓発活動の推進 ・規則正しい生活づくりのための時間遵守やルールを守る意識の徹底</p> <p>3-② 部活動 ・部活動による生活リズムづくりや体力向上 ・体力や健康を意識した生活リズムの確立</p> <p>3-③ 新体力テスト ・スポーツテストや身体測定の意味の理解 ・体力課題の整理と部活動や授業での取り組み強化</p> <p>3-④ 健康・体に関する意識の向上 ・保健授業の充実 ・薬物乱用防止教室の開催 ・命の教育の推進</p>	<p>3-① ・アンケートで毎日朝ごはん摂取率全国平均 ・就寝時間12時以降の生徒0名 ・一日のゲームやテレビに費やす時間全国平均値以下</p> <p>3-② 部活動参加率が85%以上</p> <p>3-③ ・体力運動能力調査において、経年比較で全項目向上かつ、半数項目において全国平均値 ・体力向上に向けた体育授業研の実施</p> <p>3-④ ・薬物乱用防止教室の実施 ・ネット問題についての講演会の開催 ・コソコソ青春講座（食育）の開催</p>	
保護者・地域との連携		<p>【4】 地域に開かれ、地域や保護者から信頼される学校づくりを推進する。</p>	<p>4-① 学校の取り組みに対する保護者、地域住民の理解向上 ・学校行事への参加意識向上 ・相互理解、地域住民の参加、地域行事への教職員の交流参加</p> <p>4-② 学校の取り組み参加による保護者や地域住民の子育てへの関わりと連携</p>	<p>4-① 保護者・地域住民の理解向上 ・学級懇談や学年懇談 ・家庭訪問等を通じて学校の取り組みの周知化 ・学校便り、学級通信等の発行を通じて、学校の行事予定や取組の広報活動の推進</p> <p>4-② 保護者や地域住民との子育ての関わり ・人権のたねを育てる会の地域への取り組み展開 ・「鏡野の子どもを育む会」の開催 ・子育てに関する保護者対象の講演会開催</p>	<p>4-① 学級懇談、学年懇談（学期に1回以上） ・学校通信（12回） ・学級通信全クラス発行</p> <p>4-② ・人権のたねを育てる会（ボランティア学期1回以上開催） ・PTA役員出席率60%以上 ・市P運動会参加20名以上 ・平日参観日の参観数各学年20名以上参加 ・教育の日の外部参加者数10名以上 ・あいさつ運動への保護者参加毎回2名以上 ・鏡野の子どもを育む会の開催 ・保護者対象子育て講演会（年間1回以上）</p>	
キャリア教育		<p>【5】 自分の将来を大切に、仲間の将来を保障し合う学校集団、学年集団、学級集団づくりをすすめる。</p>	<p>5-① 自分や周りの存在を認め、大切にする態度の育成</p> <p>5-② 自他の将来を保障するために、基本的な生活習慣を定着させ、社会の一員としての自覚を高め、学力を身につけようとする態度の育成</p>	<p>5-① 自分や周りの存在を認め大切にする態度の育成 ・温かい学級経営を通じ、生徒一人ひとりの存在を意識できるふり返り（学活等）の実施 ・ポジティブフォーカスの視点で生徒言動の肯定的評価</p> <p>5-② 基本的な生活習慣の定着 ・規則正しい生活を送るための支援を行いルールやマナーを守る指導の徹底 ・職場体験やキャリアチャレンジ等々の取り組みを通じ、地域交流の促進、自分の職業観や人生観の広げ ・職場体験学習に向けた取り組みの充実（1年：職業理解 2年：職場訪問 3年：職場体験学習）</p>	<p>5-① アンケート項目 ・「自分は一人の大切な人間である」肯定群80%以上 ・「将来に夢や目標を持っている」肯定群80%以上 ・「自分には良いところがある」肯定群80%以上 ・「人の役に立つ人間になりたいと思う」肯定群90%以上</p> <p>・人権の種を育てる会への参加率50%以上 ・職場体験学習での職場評価4以上（5段階）</p>	

